

取扱説明書

保管用
施工説明付き



(LED間接照明)

※対象品番は仕様欄をご参照ください。

お客様へ

このたびは、大光電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
本説明書は大切に保管してください。

●安全上のご注意

必ずお守りください。

●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明します。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。
(下図は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。



してはいけない内容です。

⚠ 警告



厳守

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。



禁止

●周囲温度－5～35℃以外では使用しない
火災の原因となります。



禁止

●器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わない
火災・感電・落下の原因となります。

●器具の近くにストーブ等の温度の高くなるものを置かない
火災の原因となります。



分解禁止

●器具の改造、部品の変更は行わない
火災・感電・落下等の原因となります。

⚠ 注意



厳守

●照明器具には適正交換時期があります。
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。

周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、適正交換時期が短くなります。

●1年に1回は「安全チェックシート」により、自主点検をしてください。「安全チェックシート」については弊社ホームページをご覧ください。

●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。



厳守

●お手入れの際は電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となります。

●器具の取外しは工事店、販売店に依頼する
器具の取外しには資格が必要です。



禁止

●LEDを直視しない
目に悪影響を及ぼすおそれがあります。



接触禁止

●点灯中や消灯直後は器具にさわらない
やけどの原因となります。

工事店様へ

施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
本説明書は必ずお客様にお渡しください。

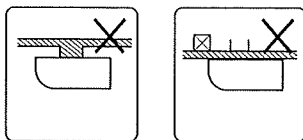
●安全上のご注意

必ずお守りください。

⚠ 警告

●取付面

- 指定場所以外には取付けない
火災・落下の原因となります。
- ※この器具は天井・壁面・床面取付兼用です。



不安定な場所 補強のないロックウール等のやわらかい取付面



厳守

- 取付面の強度を確保する
取付面が強度不足の場合、落下の原因となります。
- 付属の木ネジで確実に取付ける
取付部、補強材へのねじ込み寸法が20mm以下の場合、落下の原因となります。
既に使用されたネジ穴の再利用はしないでください。
落下の原因となります。



水ぬれ禁止

- 湿気の多い場所や屋外では使用しない
火災・感電の原因となります。
- ※この器具は非防水です。



禁止

- ガス機器等の温度の高くなるものの近くに取付けない
火災の原因となります。

●壁スイッチ

- 調光器を使用する場合は、当社製適合調光器を使用する
指定以外の調光器と組み合わせて使用すると、火災の原因となります。
- ※調光器の注意事項については、調光器の説明書をご確認ください。



厳守

●その他

- 取付けは器具本体表示または本説明書に従って確実に
行う
取付けに不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災・感電の原因となります。
- 電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- 送り総容量6.5 A以下にする(照明器具専用)
容量オーバーした場合、火災の原因となります。



厳守

⚠ 注意



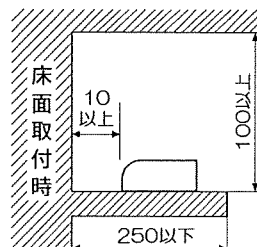
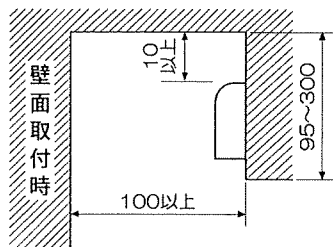
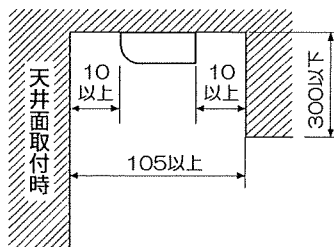
禁止

- 取付面が充分乾燥してから器具を取付ける
乾燥が不十分な場合、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。

●取付け前の注意事項について

- 下記の条件を守って施工してください。

最小施工寸法 単位：mm



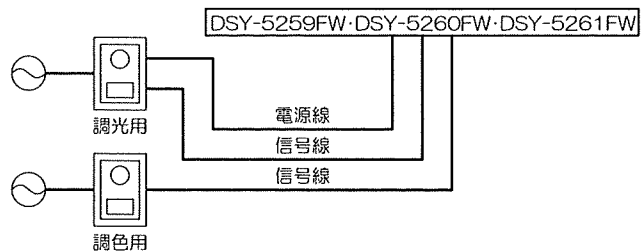
⚠ 警告

指定寸法以外での取付けはできません。火災・故障の原因となります。

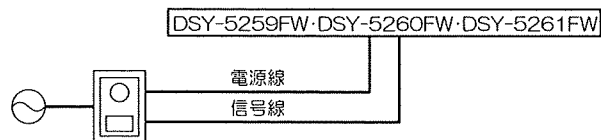
●システム図

●信号制御調光器を使用する場合

<調光・調色>

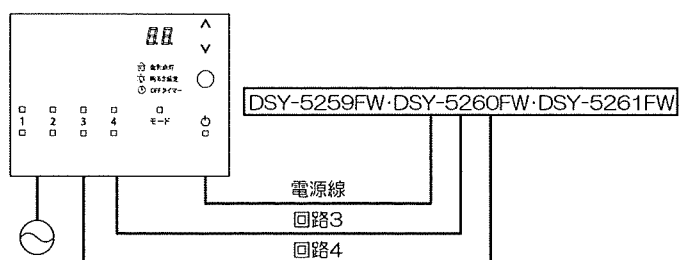


<調色>

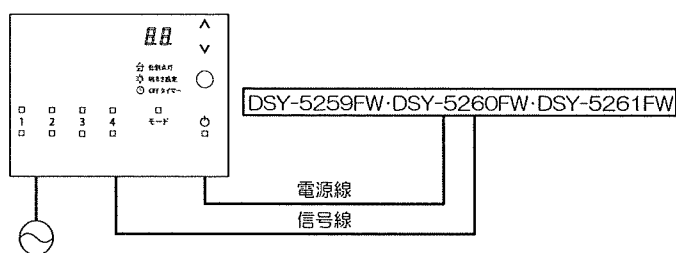


●シーンコントローラを使用する場合

<調光・調色>

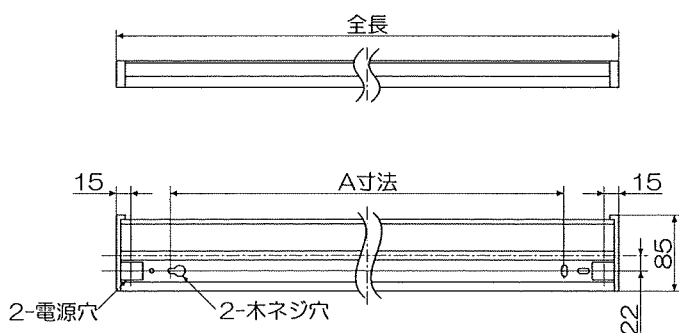


<調色>



●取付寸法図

単位：mm

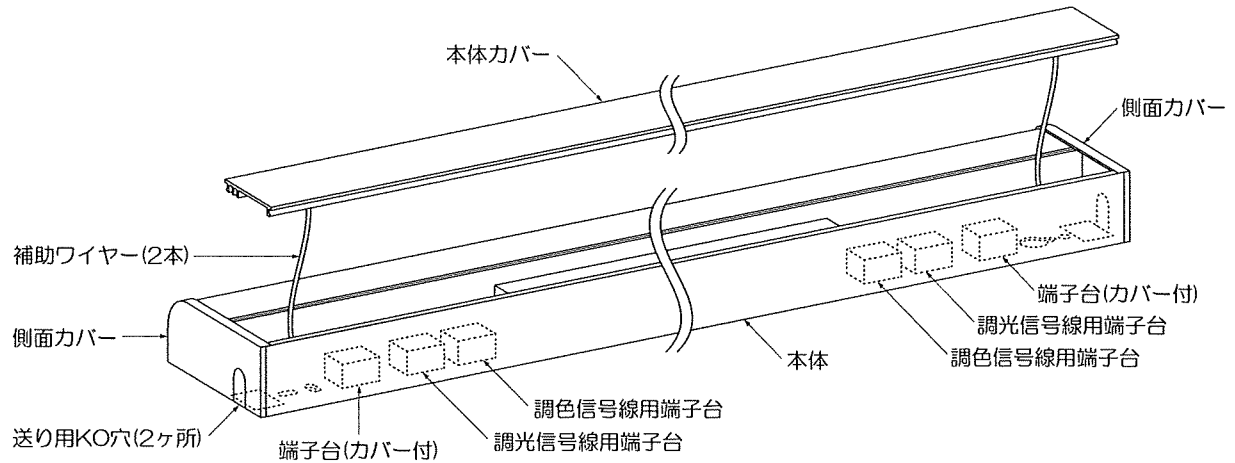


品 番	全長	A寸法
DSY-5259FW	900	800
DSY-5260FW	1200	1100
DSY-5261FW	1500	1400

●各部のなまえと取付けかた

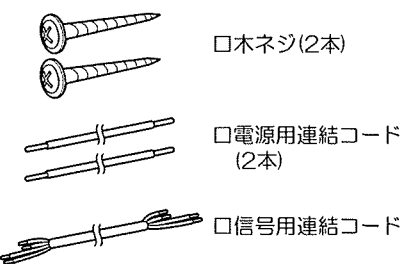
安全のため、電源を切ってから行ってください。

※下図は、簡略した図です。

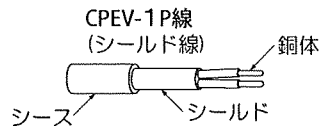


付属部品

取付けする前にまず付属部品をご確認ください



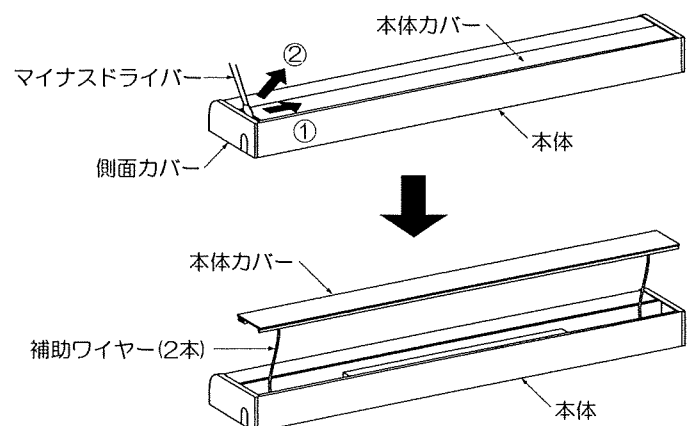
あらかじめ専用信号線をご用意ください



※信号線は必ずシールド線をご使用ください。
調色用・調光用で各1本ずつご用意ください。
送り配線をする場合は付属のものをご使用
ください。

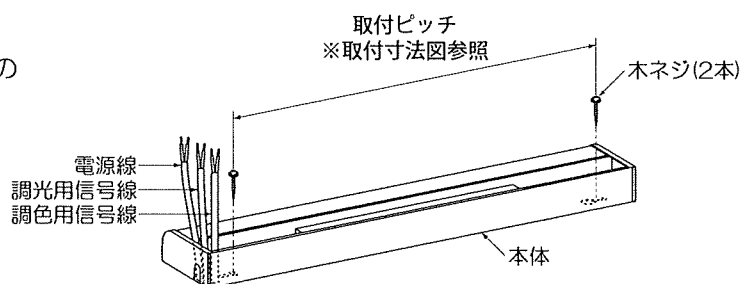
取付け前の準備

- 本体カバーを矢印方向にスライドさせ、すき間をあける。
 - マイナスドライバー等を本体カバーと側面カバーのすき間に差し込み、本体カバーを押し上げる。
- ※ 本体カバーは補助ワイヤーで本体に固定されています。

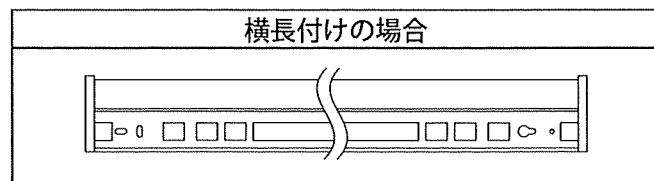


1 本体を取付ける

- 本体に電源線、調光用信号線、調色用信号線を通し、木ネジ(2本)で確実に取付ける。
- ※ロックウール等のやわらかい取付面の場合、補強材のある位置に取付けてください。

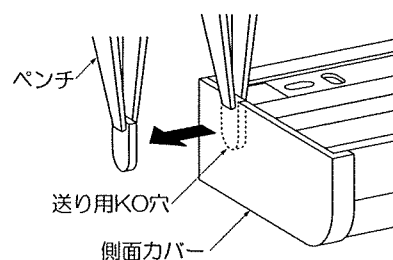


※壁面取付けの場合、取付方向は横長付け専用です。

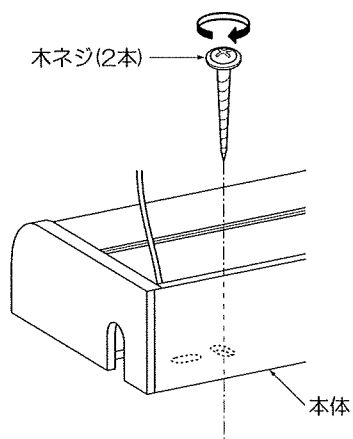


<連結する場合>

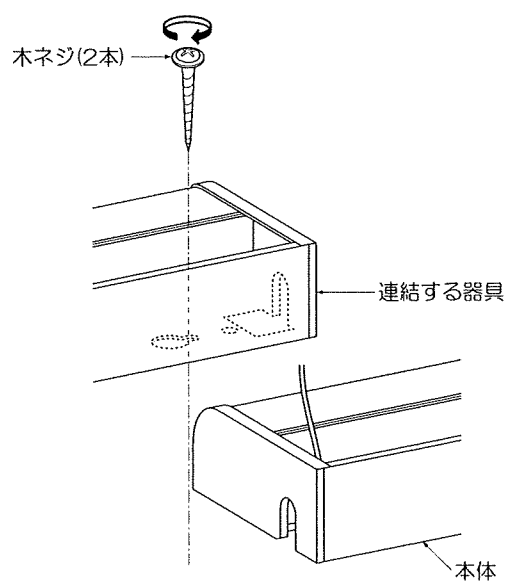
- ペンチ等で側面カバーの送り用KO穴をあける。



- 本体を木ネジ(2本)で確実に取付ける。

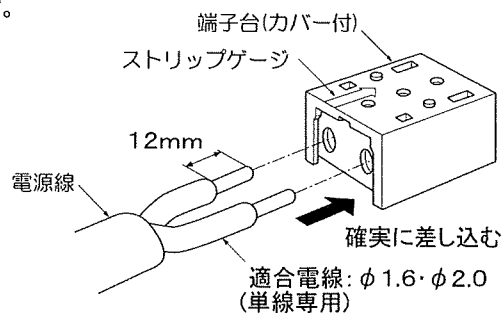


- 連結する器具を木ネジ(2本)で確実に取付ける。
- ※器具間にすき間をあげないように取付けてください。

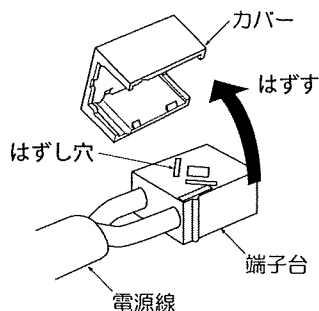


② 電源線を接続する

- 電源線を端子台に適切、確実に差し込む。



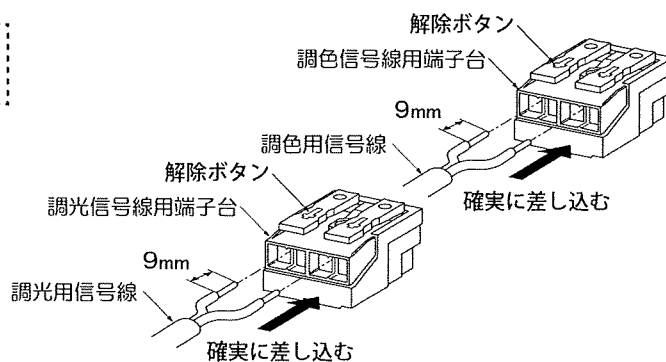
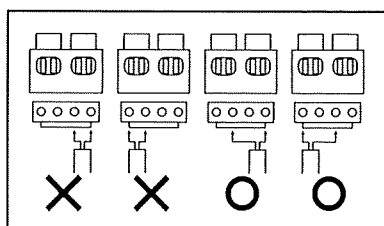
電源線を取外す場合は、カバーを取外してマイナスドライバー等をはずし穴に差し込み、電源線を引き抜く。



③ 信号線を接続する

- 信号線を端子台に適切、確実に差し込む。

信号線を取外す場合は、解除ボタンを押しながら、信号線を引き抜く。



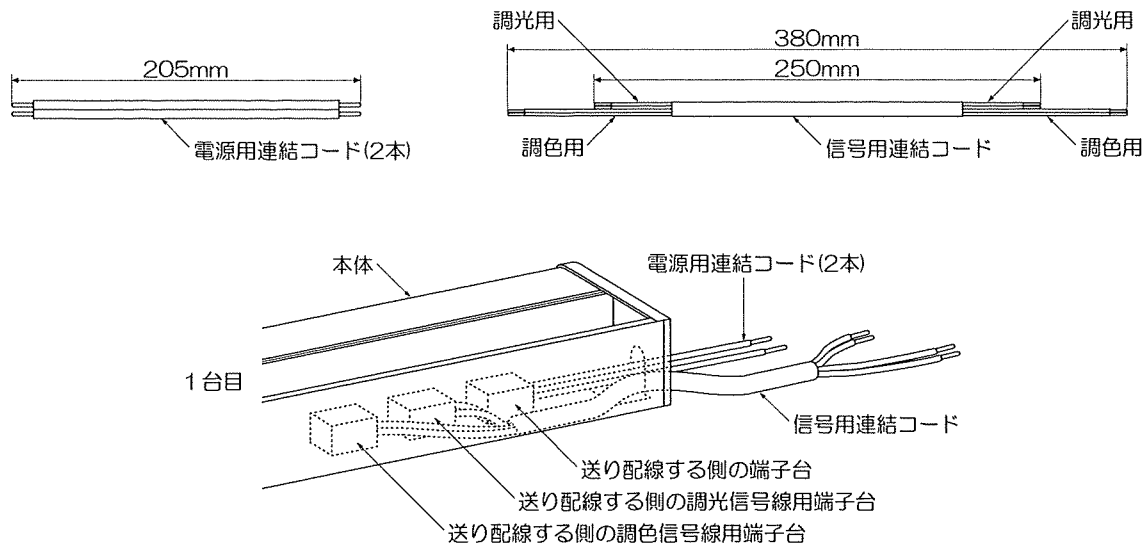
適合信号線

CPEV-1P線
(シールド線)
φ0.9～φ1.2
外径φ9以下

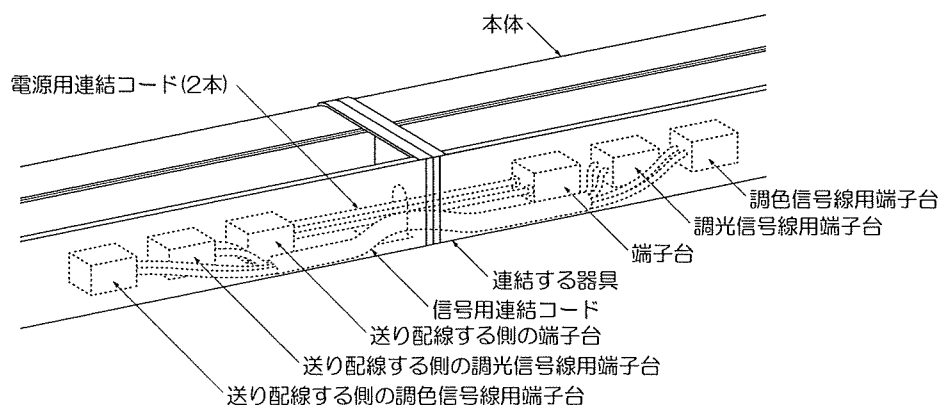


4) 連結コードを接続する

- 電源用連結コード(2本)を送り配線する側の端子台に適切、確実に差し込む。
- 信号用連結コードを送り配線する側の調光信号線用端子台、調色信号線用端子台に適切、確実に差し込む。

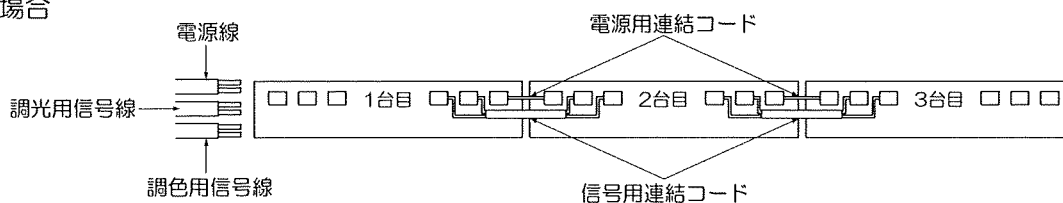


- 電源用連結コード(2本)を連結する器具の端子台に適切、確実に差し込む。
- 信号用連結コードを連結する器具の調光信号線用端子台、調色信号線用端子台に適切、確実に差し込む。



<連結例>

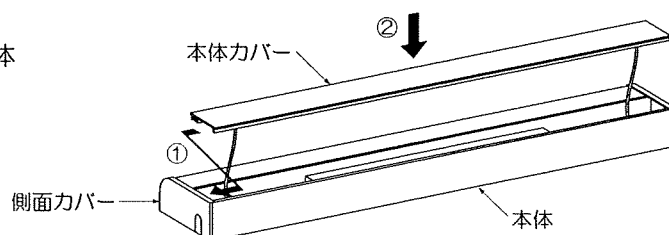
- 3台の場合



5) 本体カバーを取付ける

- 本体カバーを本体のミゾに差し込み、カチッと音がするまで本体カバーを押し込む。

※本体カバーと側面カバーにすき間がある場合は、本体カバーをスライドさせ、すき間を調整してください。



⑥ 配線方法

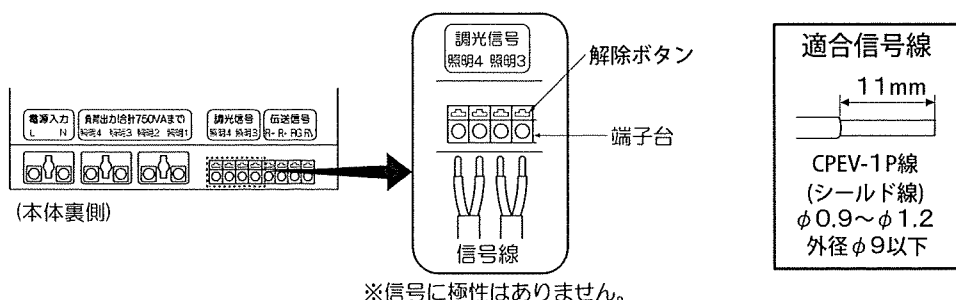
⑥-① シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)に接続する場合

- シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)の取扱説明書に従って、電源線、信号線を接続する。

<配線方法>

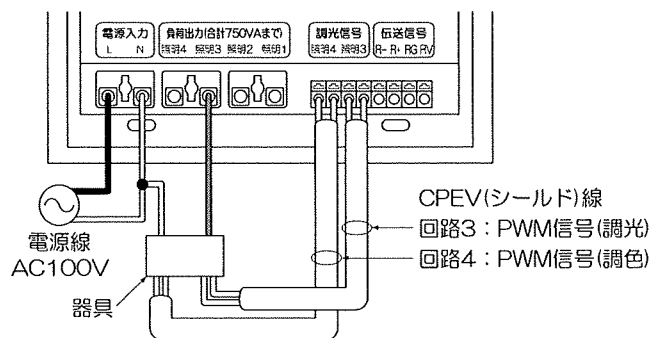
※DP-37643の配線方法を例として示します。

- 信号線を端子台に適切、確実に差し込む。

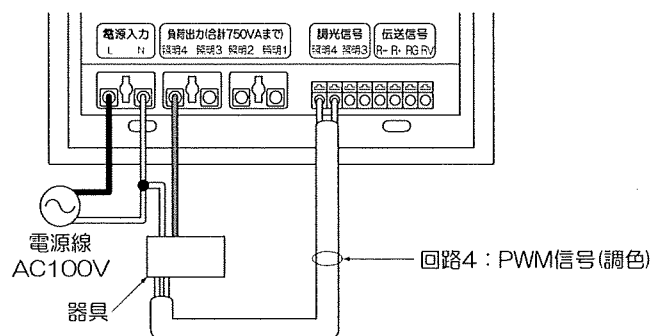


信号線を取外す場合はドライバー等で解除ボタンを
押しながら、信号線を引き抜く。

1. 調光・調色で使用する場合



2. 調色のみで使用する場合



※シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)の取扱説明書を必ず確認してください。

⑥-② 信号制御調光器(DP-38458・DP-53392F・DP-53393F)を接続する場合

- 信号制御調光器(DP-38458・DP-53392F・DP-53393F)の取扱説明書に従って、電源線、信号線を接続する。

<配線方法>

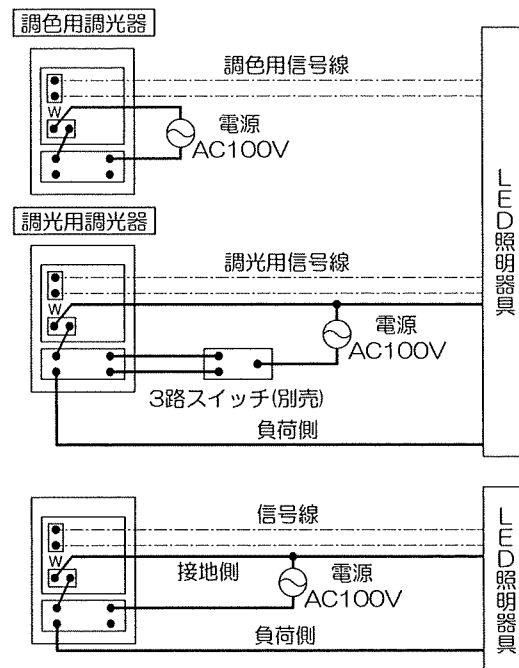
1. DP-38458を接続する場合

①調光・調色をする

※調光用・調色用の信号制御調光器が各1台ずつ必要です。

- 調光・調色で使用する場合は、必ず調光用調光器から器具へ電源線を接続し、ON/OFFを行う。

〔右記は、3路スイッチ(別売)を設けた配線図です。〕



②調色のみ行う

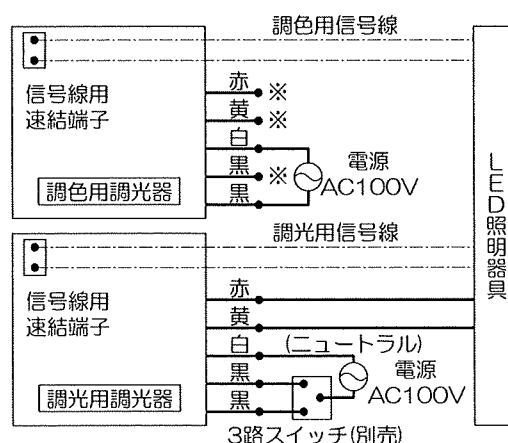
2. DP-53392F・DP-53393Fを接続する場合

①調光・調色をする

※調光用・調色用の信号制御調光器が各1台ずつ必要です。

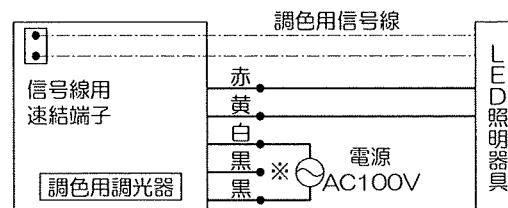
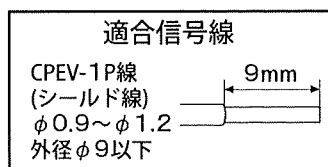
- 調光・調色で使用する場合は、必ず調光用調光器から器具へ電源線を接続し、ON/OFFを行う。

〔右記は、3路スイッチ(別売)を設けた配線図です。〕



※調色用調光器であまった赤・黄・黒線は必ず絶縁処理してください。

②調色のみ行う



※調色用調光器であまった黒線は必ず絶縁処理してください。

△ 注意

信号制御調光器1台を調光用端子台に接続した場合、昼白色(5000K)のみ点灯します。電球色(2700K)は点灯しません。電球色を調光する場合は、必ず調光用と調色用の信号制御調光器を各1台ずつご用意ください。

※信号制御調光器(DP-38458・DP-53392F・DP-53393F)の取扱説明書を必ず確認してください。

●ご使用方法

<シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)を使用する場合>

●詳しい使用方法是シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)の取扱説明書をご参照ください。

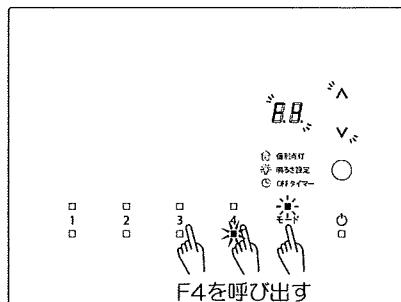
※DP-37643の設定方法を例として示します。(回路「3」：調光、回路「4」：調色)

負荷の設定について

●回路「3」・「4」の負荷の設定を行います。〔初期設定：L3〕

●「ON/OFF」ボタンをタッチして電源を入れてから、下記操作を行ってください。

① モード「負荷の設定」(F4)を呼び出す



①「3」ボタン+「4」ボタン+「モード」ボタンを3秒タッチしてください。

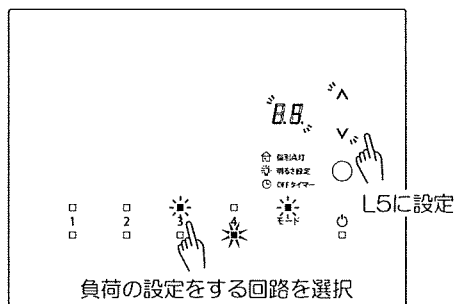


モード「負荷の設定」が呼び出されます。

デジタル表示部に「F4」がオレンジ色に点灯します。
「矢印」ボタンがオレンジ色に点灯します。
「モード」ボタンがオレンジ色に点灯します。
「シーン・回路選択」ボタンの「4」が青色に点滅します。



② 回路ごとに負荷を選択する



②回路「3」を選択し、「矢印」ボタンで「L5」に設定してください。

※調色のみで使用する場合は回路「3」の設定は必要ありません。

回路「4」を選択し、「矢印」ボタンで「L5」に設定してください。

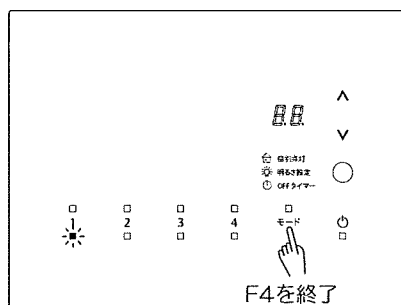


選択した回路の「シーン・回路選択」ボタンがオレンジ色に点灯します。
デジタル表示部に選択した回路の現在の負荷が表示されます。

L1→L2→L3→L4→L5の順で切り替わります。



③ モード「負荷の設定」を終了する



③「モード」ボタンを1回タッチして終了してください。
(30秒経過すると、自動終了して設定されません。)



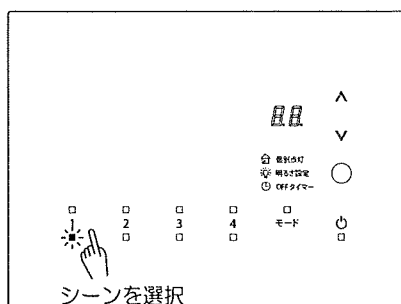
デジタル表示部、「矢印」ボタン、「モード」ボタン、「シーン・回路選択」ボタンのオレンジ色が消灯します。
元の「シーン・回路選択」ボタンの青色が点灯します。

各シーンの明るさ設定について

●各シーンの明るさを回路「3」に設定します。

※調色のみ使用する場合は回路「3」の設定は必要ありません。

① 呼び出したいシーン「1～4」を選択する



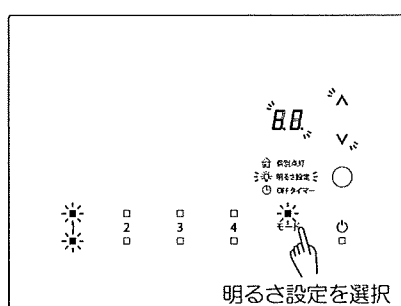
①シーン「1」・「2」・「3」・「4」を選択してください。



電源が入り、シーンが切り替わります。

選択した回路の「シーン・回路選択」ボタンが青色に点灯します。

② モード「明るさ設定」を呼び出す



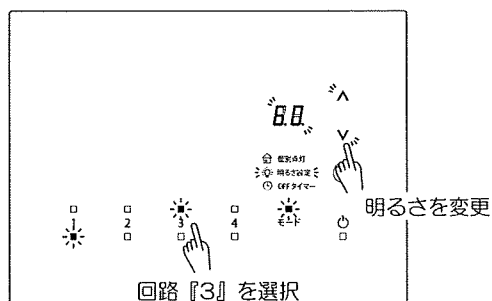
②「モード」ボタンを2回タッチしてください。



モード「明るさ設定」が呼び出されます。

モード表示部の「明るさ設定」がオレンジ色に点灯します。
デジタル表示部に現在の明るさが表示されます。
「矢印」ボタンがオレンジ色に点灯します。
「モード」ボタンがオレンジ色に点灯します。
該当の「シーン・回路選択」ボタンがオレンジ色に点灯します。

③ 明るさを変更したい回路「3」を呼び出す



③回路「3」を選択してください。



「3」ボタンがオレンジ色に点灯します。

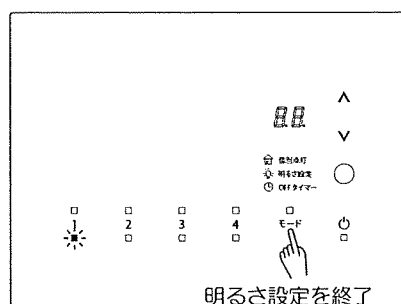
④「矢印」ボタンで明るさを変更(設定)してください。
※100%は「FF」と表示されます。

10~FF
暗い 明るい

⚠ 注意

調光のみで使用した場合、昼白色(5000K)で点灯します。
電球色(2700K)だけの調光はできません。

④ 「明るさ設定」を終了する



⑤「モード」ボタンを2回タッチして終了してください。
(30秒経過すると、自動終了して設定されません。)

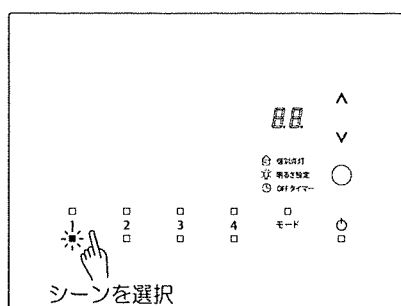


モード表示部、デジタル表示部、「矢印」ボタン、「モード」ボタン、「シーン・回路選択」ボタンのオレンジ色が消灯します。

各シーンの光色設定について

●各シーンの明るさを回路「4」に設定します。

① 呼び出したいシーン「1～4」を選択する



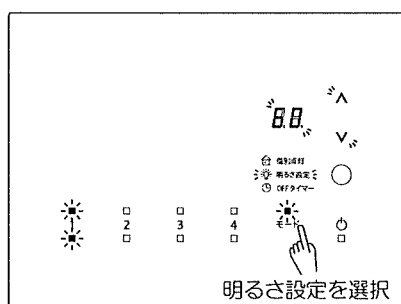
①シーン「1」・「2」・「3」・「4」を選択してください。



電源が入り、シーンが切り替わります。

選択した回路の「シーン・回路選択」ボタンが青色に点灯します。

② モード「明るさ設定」を呼び出す



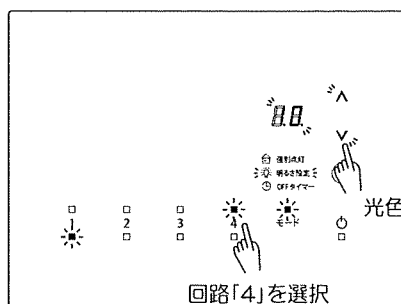
②「モード」ボタンを2回タッチしてください。



モード「明るさ設定」が呼び出されます。

モード表示部の「明るさ設定」がオレンジ色に点灯します。
デジタル表示部に現在の明るさが表示されます。
「矢印」ボタンがオレンジ色に点灯します。
「モード」ボタンがオレンジ色に点灯します。
該当の「シーン・回路選択」ボタンがオレンジ色に点灯します。

③ 光色を変更したい回路「4」を呼び出す



③回路「4」を選択してください。

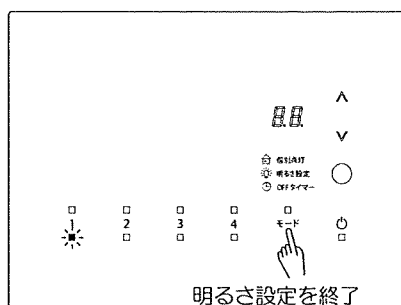


「4」ボタンがオレンジ色に点灯します。

④「矢印」ボタンで光色を変更(設定)してください。
※昼白色は「FF」と表示されます。

10~FF
電球色 昼白色

④ 「明るさ設定」を終了する



⑤「モード」ボタンを2回タッチして終了してください。
(30秒経過すると、自動終了して設定されません。)



モード表示部、デジタル表示部、「矢印」ボタン、「モード」ボタン、「シーン・回路選択」ボタンのオレンジ色が消灯します。

<シーンコントローラ子器(DP-37987・DP-39094)を使用する場合>

- シーンコントローラ子器(DP-37987・DP-39094)の取扱説明書をご参照ください。

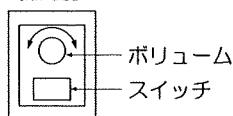
<信号制御調光器(DP-38458・DP-53392F・DP-53393F)を使用する場合>

- 信号制御調光器のスイッチをONにしてください。
- ボリュームを回して明るさと光色を調整してください。

△ 注意

調光のみで使用した場合、昼白色(5000K)で点灯します。
電球色(2700K)だけの調光はできません。

調光器



調色器



●故障かな?と思ったら

現象	考えられる原因	処置
本体LEDが点灯しない	電源線が正常に接続されていない。	電源線を再度結線しなおしてください。
	電源線を間違えて調光・調色信号用端子台に接続している。	本器が壊れている可能性があります。電源を切って確認してください。壊れている場合は交換してください。
LEDがちらつく	シーンコントローラ(DP-37643・DP-39093)の「明るさ設定」「光色設定」が1~9になっている。	明るさ設定または光色設定を10以上にしてください。 (11ページ「各シーンの明るさ設定について」、12ページ「各シーンの光色設定について」をご参照ください。)
	負荷設定が間違っている。	「F4」の負荷設定を「L5」にしてください。(※1)
シーンコントローラで調光や調色の操作ができない	負荷設定が間違っている。	「F4」の負荷設定を「L5」にしてください。(※1)
	PWM信号線が正常に接続されていない。	信号線を再度結線しなおしてください。
信号制御調光器で調光や調色の操作ができない	PWM信号線が正常に接続されていない。	信号線を再度結線しなおしてください。
	信号制御調光器のスイッチがOFFになっている。	スイッチを入れてください。(※2)

※1. モード「負荷設定」をしてください。(詳細は10ページの「負荷の設定について」をご参照ください。)

- 調光・調色の場合、「シーン・回路選択」ボタン「3」・「4」を「L5」にしてください。

- 調色の場合、「シーン・回路選択」ボタン「4」を「L5」にしてください。

※2. 信号制御調光器2台を使用して調光と調色を行う場合、スイッチが2台ともONであることを確認してください。

調光側の信号制御調光器がOFFの場合、点灯しません。

調色側の信号制御調光器がOFFの場合、昼白色状態から調色操作ができなくなります。

●ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません。

〔器具自体の留意点〕

- LEDはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は電源を切り、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取替えはできません。
- 人感スイッチなどの自動点滅装置や遅れスイッチなどには使用できない場合があります。下記のURLからご確認ください。
<https://src.lighting-daiko.co.jp/products/app/switch/>



- 点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

- 調光器の操作(急激にひねる等)により、器具ごとに消灯や明るさが揃うまでの時間、調光動作が異なったり、若干のちらつきが発生することがあります。これは器具の特性によるもので故障ではありません。

〔周囲の影響〕

器具の近くで使用すると以下の現象がまれにあります。

- ラジオやテレビ等の音響・映像機器への雑音。
- リモコン機器(エアコン等)のリモコンが動作しにくくなる。
- トランシーバやラジコンのコントローラ等の無線機により器具が点滅する。

〔位置表示灯スイッチ(ほたるスイッチ等)をご使用する場合〕

- 位置表示灯スイッチは、1回路につき6個までとしてください。
- 7個以上ご使用すると、スイッチをOFFにしても器具が消灯しないことがあります。

●点検とお手入れについて

（安全のため、電源を切ってから行ってください。）

- 明るく安全に使用するために6ヶ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。
 - ・LEDが切れていませんか。
 - ・正常に点灯しますか。
 - ・取付面との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
 - ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
 - ・カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。
- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
※シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。

●仕様

品番は器具のラベルをご参照ください。

品番	定格電圧	周波数	定格消費電力	入力電流	LED	全長
DSY-5259FW	交流 100V	50/60 Hz共用	21W	0.21A	昼白色(5000K)～電球色(2700K)	900mm
DSY-5260FW			31.5W	0.32A		1200mm
DSY-5261FW			36.5W	0.37A		1500mm

- LEDの光束維持時間は、40,000時間です。（LEDが点灯しなくなるまでの総点灯時間または、器具光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。LED照明器具の保証期間ではありません。）
- 異常温度防止機能付です。
- 連結は最大17台までです。
- シーンコントローラ(別売：DP-37643・DP-39093)・シーンコントローラ子器(別売：DP-37987・DP-39094)または信号制御調光器(別売：DP-38458・DP-53392F・DP-53393F)使用で調色は昼白色(5000K)～電球色(2700K)、調光は5%～100%まで調光可能です。

<別売部品>

品 名	品 番
4回路シーンコントローラ	DP-37643
4回路シーンコントローラ子器	DP-37987
6回路シーンコントローラ	DP-39093
6回路シーンコントローラ子器	DP-39094
信号制御調光器	DP-38458・DP-53392F・DP-53393F

●保証について

- この商品の保証期間は3年です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社「CSセンター」までお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品の、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品を維持するために必要な部品です。

●商品についてのご相談

CSセンター(0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通)へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。